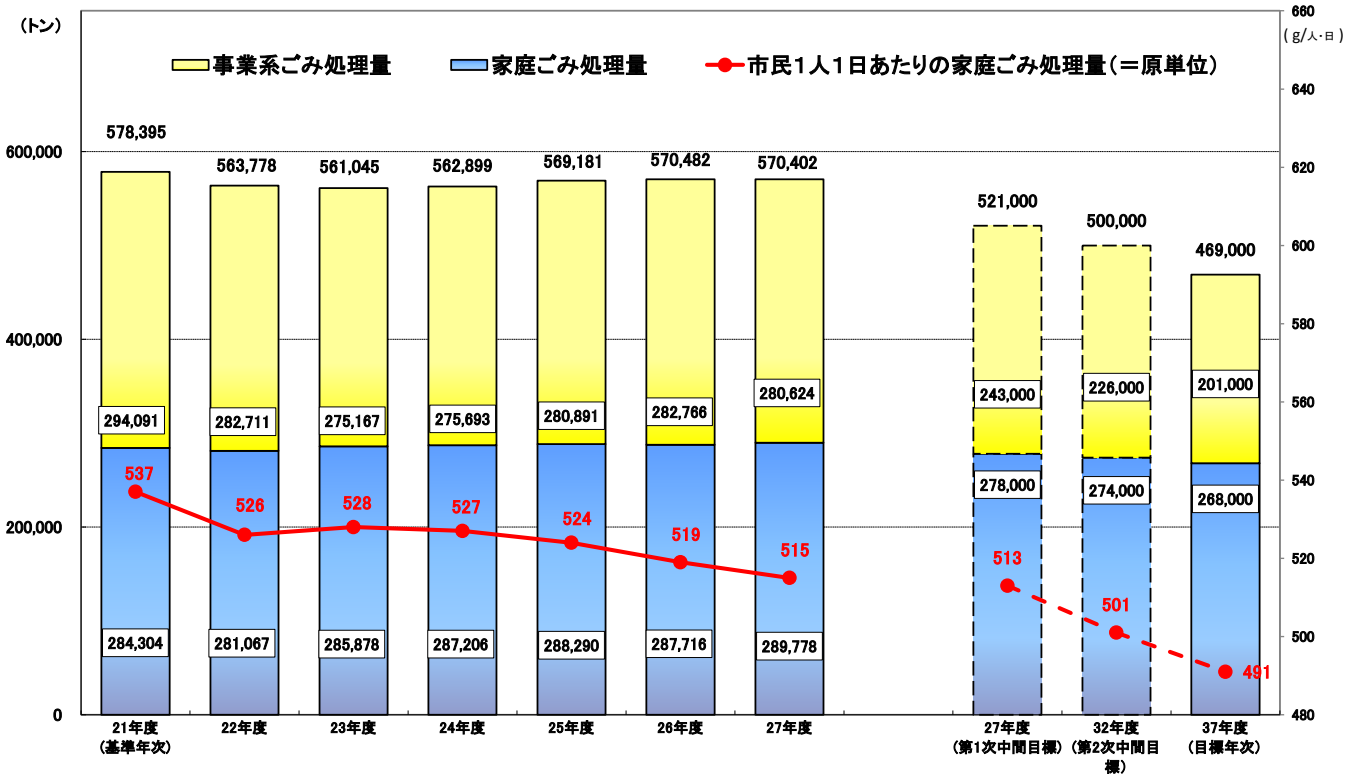
資料１

新循環のまち・ふくおか基本計画の進捗状況について（２７年度）

１　数値目標，取組指標の状況

数値目標①　ごみ処理量



※目標年次の数値は，千トン未満を四捨五入している。

【 評　価 】

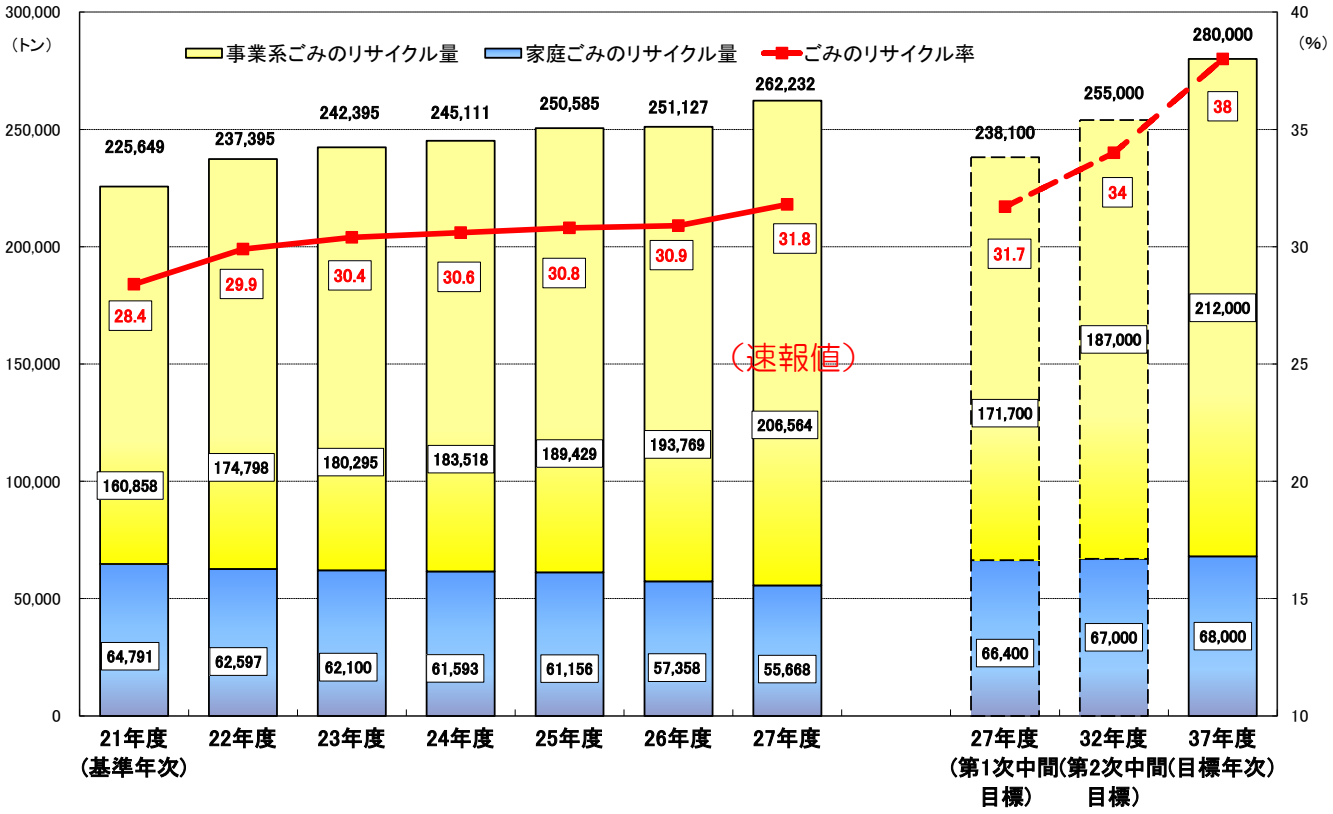
平成 27 年度のごみ処理量は，約 57 万トンとなっており，基準年次の平成 21 年度と比較すると，約 8 千トンの減となっており，前年度との比較では，横ばいとなっています。

家庭ごみについては，平成 23 年度から増加しており，平成 27 年度は昨年度と比べ微増となりました。人口が毎年１％程度伸びているものの，市民一人一日あたりのごみ処理量(原単位)が減少しており，市民の３Ｒへの取組みなどによるものと考えます。

事業系ごみについては，経済状況の好転の中，事業者のリサイクルの取組みや，事業系ごみ処理手数料の減免廃止などにより減少したものと考えます。

第１次中間目標（２７年度）との比較では，全体では約５万トン，家庭ごみは約１万２千トン，事業系ごみは約３万８千トン多くなりました。家庭ごみは，想定以上の人口の伸び，事業系ごみは交流人口の増加や経済状況の好転によるものと考えます。

数値目標② ごみのリサイクル率



※目標年次の数値は，千トン未満を四捨五入している。

【 評　価 】

平成 27 年度のリサイクル率は，31.8%（速報値）となっており，基準年次である平成 21 年度と比較して 3.4 ポイント増加，前年度と比較して 0.9 ポイント増加しています。

リサイクル量については，基準年次である平成 21 年度と比較して約３万７千トンの増加，前年度との比較では約１万１千トンの増加となっています。

平成 27 年度の地域集団回収量は減少しましたが，特定事業用建築物（延床面積 1,000 ㎡超）の所有者等への減量指導によるリサイクル量や小規模事業者が排出する古紙のリサイクル量が伸びたためリサイクル量，リサイクル率ともに増加となりました。

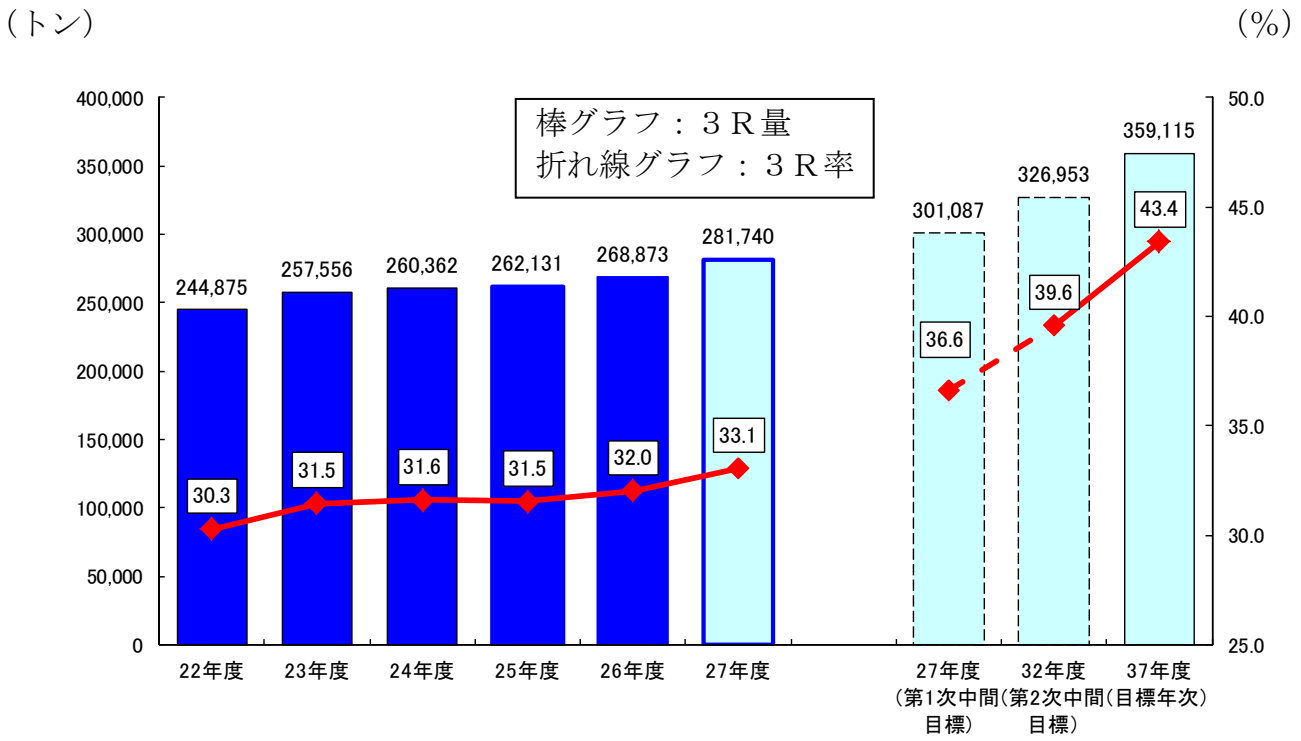
第１次中間目標（２７年度）との比較では，リサイクル率は 0.1 ポイント差とほとんど同じであり，リサイクル量全体では，約２万４千トン上回りました。家庭ごみは新聞の発行部数減や電子媒体の普及等により約１万１千トン下回り，事業系ごみは事業者のリサイクルへの取組みにより約３万５千トン上回りました。

取組指標①　３Ｒ率　（ごみの発生量に対する３Ｒが実践された比率）

【 目　的 】

リサイクルだけでなく，リデュース・リユースの取組みを推進するため，３Ｒ率を把握する。

【 実　績 】



【 評　価 】

平成27年度の３Ｒ率は33.1%であり，前年度から１．１ポイントの増加となっています。

３Ｒ量は前年度から約１万３千トンの増加となっており，下に示しているとおり，発生抑制，再使用量を示す２Ｒ量とも増加しています。

第１次中間目標との比較では，３Ｒ量は年々増加しているものの，３Ｒ量は約１万９千トン，３Ｒ率では３．５ポイント下回っています。

＜３Ｒ率の算定方法＞

原単位（市民１人１日あたりごみ発生量）の減少量：35g/日・人　（H26n：32g/日・人）

＝平成 21 年度の原単位 1,500g/日・人－平成 27 年度の原単位 1,465g/日・人

２Ｒ量：19,708 ﾄﾝ　（H26n：17,746 ﾄﾝ）

＝原単位の減少量 35g×年間日数 366 日×平成 27 年度の推計人口 1,538,510 人

３Ｒ量：281,740 ﾄﾝ　（H26n：268,873 ﾄﾝ）

＝２Ｒ量 19,708 ﾄﾝ＋平成 27 年度のリサイクル量 262,032 ﾄﾝ

３Ｒ率：33.1%　（H26n：32%）

＝３Ｒ量 281,740 ﾄﾝ÷（平成 27 年度のごみ処理量 570,402 ﾄﾝ＋３Ｒ量 281,740 ﾄﾝ）

取組指標② ３Ｒの実践度 （市民の３Ｒの行動の広がりを示す指標）

【 目　的 】

３Ｒの実践が市民に広まっているかどうかを把握する。

【 実　績 】

○　ごみ減量・リサイクルへの関心度

	21 年度（基準年次）	26 年度	27 年度	基準年比
関心度	90.9%	90.9%	91.4%	+0.5 ﾎﾟｲﾝﾄ

○　３Ｒの認知度

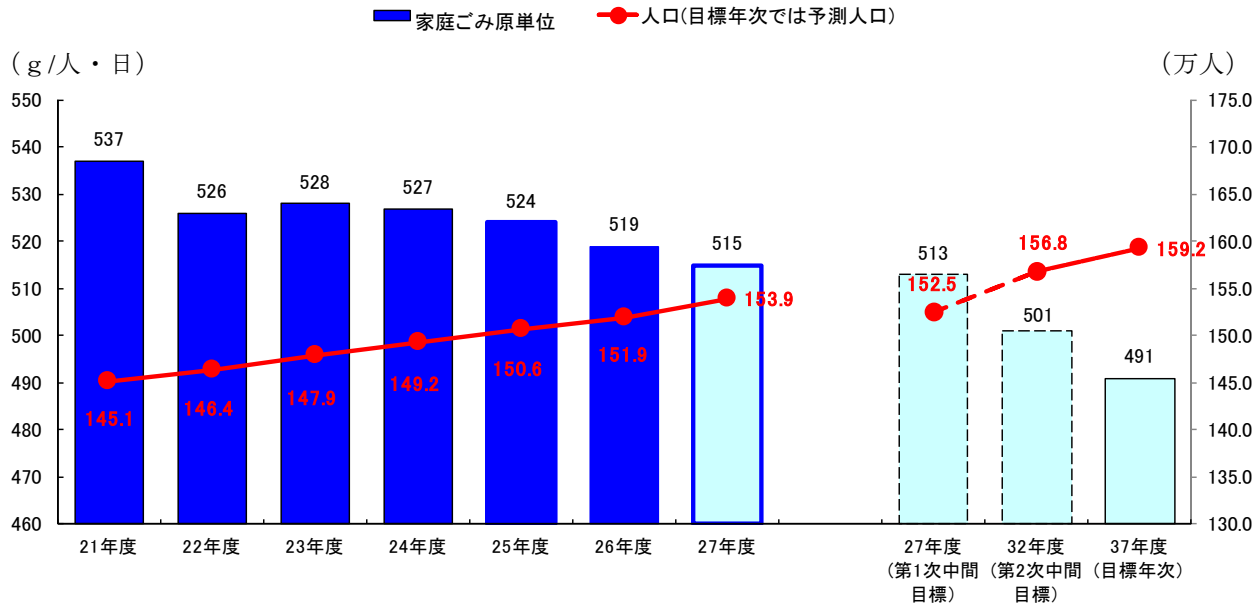
	21 年度（基準年次）	26 年度	27 年度	基準年比
リデュース	38.2%	57.6%	58.7%	+20.5 ﾎﾟｲﾝﾄ
リユース	49.8%	61.9%	64.2%	+14.4 ﾎﾟｲﾝﾄ
リサイクル	89.1%	94.3%	94.5%	+5.4 ﾎﾟｲﾝﾄ

○　３Ｒの実践状況

実践項目		実践率			
		21 年度（基準年次）	26 年度	27 年度	基準年比
リデュース	レジ袋辞退	63.3%	76.9%	76.5%	＋13.2 ﾎﾟｲﾝﾄ
	詰替商品の購入	58.8%	80.5%	81.3%	＋22.5 ﾎﾟｲﾝﾄ
	生ごみの削減	53.1%	57.9%	56.3%	＋3.2 ﾎﾟｲﾝﾄ
	計画的な購入	46.1%	42.1%	46.8%	＋0.7 ﾎﾟｲﾝﾄ
リユース	フリーマーケット等の活用	24.3%	32.2%	34.3%	＋2.1 ﾎﾟｲﾝﾄ（前年比）
	知り合いへの譲渡	33.5%			
リサイクル	集団回収の利用度	65.6%	―	―	―
	古紙回収ボックスの利用度	34.9%	―	―	―

※市政に関する意識調査及び市政アンケート結果による（27 年９月実施）。

○　市民１人１日あたりの家庭ごみ処理量（ ＝ 原単位）



【 評　価 】

ごみ減量・リサイクルへの関心度や３Ｒの認知度に加え，３Ｒの実践状況も向上していることから，市民１人１日あたりの家庭ごみ処理量が減少していると考えます。ただし，生ごみの削減等の実践率が低い項目があり，２Ｒに重点を置いた３Ｒの周知啓発をさらに取組んでいく必要があると考えます。

（参考）３Ｒ推進モニターの取組みについて

1　福岡市３Ｒ推進モニター概要

（１）目的

３Ｒのうち特に２Ｒ（リデュース・リユース）についての意識を高め，家庭で３Ｒの取組みを促進する。

（２）取組期間

平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日

（３）参加者

198 名

（４）実績報告提出者

152 名（一世帯あたり平均 2.9 人）（提出率 76.8%）

（５）取組内容

①「生ごみはギュッと水気を切って出す」
②買い物ではマイバッグを利用し，不要なレジ袋は断る
③雑紙は古紙とし，集団回収や資源物回収拠点に出す，
など 20 項目を実践し，実績報告書を市へ提出

2　取組みによる効果（ごみ袋の排出数の推移）

（１）燃えるごみ　（単位：袋）

	大袋(45 リットル)	中袋(30 リットル)	小袋(15 リットル)
１０月	361	347	254
１月	306	315	258

ごみ袋の排出総数が，10 月分:962 袋　→　１月分　：879 袋
ごみ袋排出数の変化を重量に換算すると，
全体で　10 月分:約 3,076kg　→　１月分:約 2,751kg　約 325kg の減量
１世帯１日あたり　10 月分:約 675g　→　１月分:約 603g　約 72g の減量

（２）燃えないごみ　（単位：袋）

	大袋(45 リットル)	中袋(30 リットル)	小袋(15 リットル)
１０月	25	19	25
１月	15	15	15

ごみ袋の排出総数が，10 月:69 袋　→　１月　：45 袋
ごみ袋排出数の変化を重量に換算すると，
全体で　10 月分：約 182kg　→　１月分：約 117kg　約 65kg の減量
１世帯１日あたり　10 月分：　約 40g　→　１月分：約 26g　約 14g の減量

（３）燃えるごみ，燃えないごみの合計では，
全体で　10 月分：約 3,258kg　→　１月分：約 2,868kg　約 390kg の減量
１世帯１日あたり　10 月分：約 715g　→　１月分：約 629 g　約 86g の減量

3　３Ｒの取組項目集計結果

11 月と１月を比較し，0.3 点以上向上した場合には赤文字にして記載している。

■モニター報告者数　　１５２名　　■回答率　　７６．８％　　■モニター平均世帯数　２．９人

（ほぼできた場合は５点，半分程度できた場合は３点，あまりできなかった場合は１点，できなかった場合は０点をモニターが記載）

（一人あたりの平均点）

1　リデュース（発生抑制）の取組み	点数		
	11月	12月	1月
①食事の作り過ぎや食べ残しによるごみを出さなかった	4.32	4.44	4.61
②食料品の期限を確認し，期限以内に使い切った	4.16	4.32	4.38
③量り売りやばら売りを利用した/生鮮食品は腐らせないように必要な分量を買った	4.14	4.41	4.26
④買い物を計画的に行い，不必要なものは買わなかった	3.95	4.44	**4.31**
⑤生ごみはギュッと水気を切って出した	4.15	4.27	**4.46**
⑥買い物ではマイバッグを利用し，レジ袋を断った	4.29	4.51	**4.62**
⑦いらない割り箸やスプーン，フォークなどはもらわなかった	4.28	4.46	**4.66**
⑧個包装などの過剰な包装は断った	4.45	4.53	4.59
◆その他【　　】			
小計（40点満点）・・・〔a〕	**31.6**	**32.8**	**34.6**

2　リユース（再使用）の取組み	点数		
	11月	12月	1月
①詰め替え商品を購入し，容器などは繰り返し使った	4.58	4.65	4.67
②裏紙をメモ用紙などに使用した	4.28	4.32	4.39
③不要な衣料品は衣料品の回収を行っているところに出した	3.09	3.29	**3.39**
④ﾌﾘｰﾏｰｹｯﾄやﾘｻｲｸﾙｼｮｯﾌﾟなどに不用品を提供した	2.27	2.78	**2.71**
⑤ﾌﾘｰﾏｰｹｯﾄやﾘｻｲｸﾙｼｮｯﾌﾟなどで必要なものを購入した	1.93	2.14	1.90
⑥マイボトル（水筒）やタンブラーを使った	4.14	4.06	4.29
◆その他【　　】			
小計（30点満点）・・・〔b〕	**17.0**	**17.1**	**17.2**

3　リサイクル（再生利用）の取組み	点数		
	11月	12月	1月
①びんは燃えないゴミではなく，「びん・ペットボトル」の袋に入れて出すか，店舗の回収BOXに出した	4.77	4.82	4.82
②ペットボトルはキャップとラベルをはずして出した	4.42	4.61	**4.74**
③使用済小型電子機器（※1）は緑色の回収ボックスに出した （回収ボックスの設置場所は別紙の回収ボックス一覧表を参照してください）	2.97	3.25	**3.35**
④雑紙〔ざつがみ〕（※2）は古紙として集団回収や資源物回収拠点に出した	4.30	4.47	4.43
⑤再生品（トイレットペーパーや筆記用具など）の購入を心がけた	3.58	3.67	3.86
⑥食品トレー（白色トレー）は店舗回収に出した	3.65	3.83	3.91
◆その他【　　】			
小計（30点満点）・・・〔c〕	**20.5**	**21.3**	**21.4**
合計（100点満点）・・・〔a〕+〔b〕+〔c〕	**68.7**	**70.8**	**73.2**

取組指標③ 有害廃棄物等適正処理の実践状況 （有害廃棄物等に対する認識や取組みを示す指標）

【 目　的 】

環境負荷の低減のために，市民が蛍光灯などの適正処理に取り組んだ状況を把握する。

【 実　績 】

○蛍光灯・乾電池の回収量

区役所等の回収拠点での回収量

	21 年度（基準年次）	26 年度	27 年度	基準年比
蛍光灯・乾電池の量（トン）	1.0	1.5	10	+9

【 評　価 】

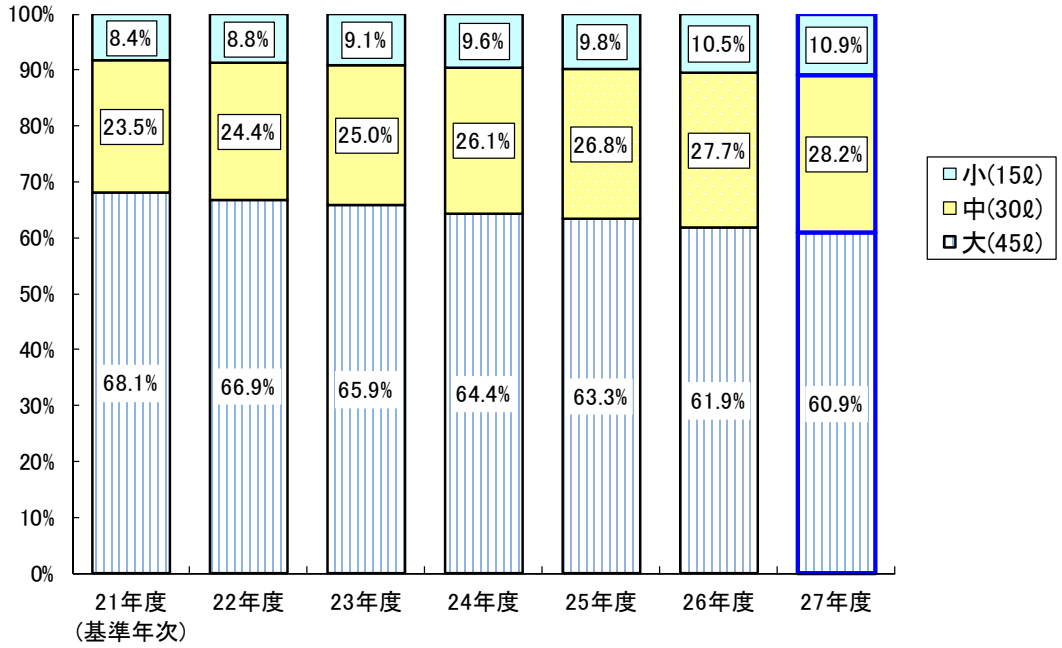
蛍光灯の回収は，27 年度より家電量販店での回収を開始したことに伴い，大幅に増加しました。今年度は新たに回収拠点を 6 か所増設し，さらなる回収の強化に努めています。

取組指標④ 家庭ごみの容積

【 目　的 】

家庭ごみの減容化の進捗状況を確認するため，家庭用可燃ごみ袋の販売数を把握する。

【 実　績 】



【 評　価 】

家庭用可燃ごみ袋の販売実績によると，大袋の割合が毎年度確実に減少しており，平成 21 年度の構成比と比較すると，大袋が 7.2 ポイントの減少，中袋は 4.7 ポイントの増加，小袋は 2.5 ポイント増加となっています。

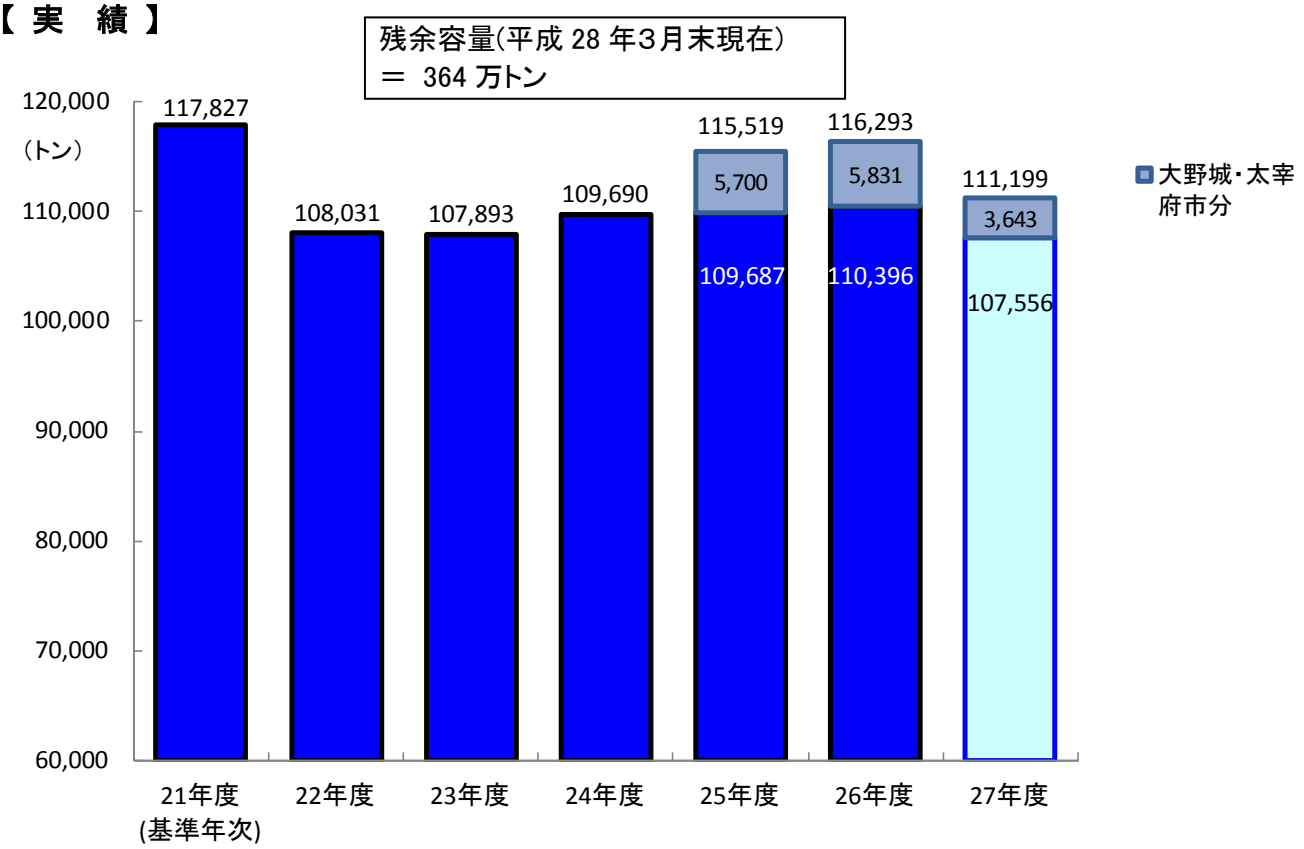
単身世帯の増加による影響だけではなく，市民一人当たりのごみ排出量が減っていることから，より小さなごみ袋を使用する世帯が増えていると考えます。

取組指標⑤ 埋立処分量

【 目　的 】

埋立場の延命化のために，埋立処分量の削減が進んでいるか把握する。

【 実　績 】



【 評　価 】

平成 27 年度の埋立処分量は，前年度より約 5,100 トン減少しています。

なお，減少した主な理由は，平成 27 年 12 月より福岡都市圏南部工場の試運転開始に伴い，本市の清掃工場に搬入される可燃ごみが減少したことによります。

取組指標⑥ 温室効果ガス排出量

【 目　的 】

「低炭素社会づくり」への配慮として，廃棄物発電による温室効果ガス（CO_2）の削減の取組み状況について把握する。

【 実　績 】

廃棄物発電による CO_2 削減量　（単位：トン）

21 年度（基準年次）	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
89,676	89,101	94,342	130,453	152,921	152,441	148,079

・発電した電気量に排出係数を乗じて算出した。
・按分計算により，市内ごみ分を算出した。

【 評　価 】

平成 27 年度の廃棄物発電による CO_2 削減量は，前年度より約４千トン減少しています。

減少の主な理由は，平成 26 年度で南部工場を廃止したことによります。

２　平成 27 年度の事業実績

（１）家庭ごみの３Ｒ施策

①リサイクルに関する事業

（単位：トン）

品　目	基準年次	前年度	実績	目標値		
項　目 事業内容	H21	H26	H27	H27 第１次	H32 第２次	H37 最　終
古紙，空き缶，リターナブルびん，布類等						
１　地域集団回収等						
古紙等の資源物のリサイクルを推進するため，地域集団回収等実施団体に報奨制度による支援を行うとともに，市民の身近で利用しやすい場所に資源物回収拠点を設置する。（H26 実績は，地域集団回収，紙リサイクルボックス，校区紙リサイクルステーション，区役所等公共施設での拠点回収，新聞社の新聞古紙回収などによる回収量）	48,184	40,265	38,686	49,896	50,781	51,550
空きびん，ペットボトル						
２　民間協力店						
民間協力店 80 か所に資源物回収拠点を設置し，空きびん・ペットボトルの回収を行う。	1,982	2,148	2,183	2,049	2,061	2,064
３　戸別回収						
家庭から収集された空きびん･ペットボトルを，びん･ペットボトル中継保管施設又は選別処理施設に搬入･選別後，再商品化事業者に引き渡す。	7,075	8,014	8,313	7,320	7,363	7,373
アルミ缶，食品トレイ等						
４　スーパーマーケット等による店頭回収						
スーパーマーケット等の店頭において，アルミ缶や食品トレイなど資源物の自主回収が行われている。	991	1,556	1,471	991	991	991
鉄，アルミ						
５　燃えないごみからの鉄･アルミの回収						
資源化センターに搬入された不燃性ごみを破砕し，磁選機等により鉄，アルミを回収，再資源化する。（家庭系/事業系は搬入量を基に案分）	5,443	4,695	4,428	4,998	4,891	4,762
廃食用油						
６　廃食用油の回収						
家庭から出る廃食用油を回収し，再資源化する。	―	0.7	0.7	5	50	100

品　目	基準年次	前年度	実績	目標値		
項　目 事業内容	H21	H26	H27	H27 第１次	H32 第２次	H37 最　終
蛍光灯・乾電池						
7　蛍光灯・乾電池の回収						
家庭から排出される蛍光灯・乾電池の拠点回収を行い，再資源化する。（H26 までの実績は，区役所での蛍光灯の回収量）	1.0	1.5	10	10	150	300
携帯電話，デジタルカメラ等						
8　使用済小型電子機器回収						
携帯電話などの使用済小型電子機器の回収を行ない，レアメタルなどの貴重な資源のリサイクルを行う。	―	4.0	45	―	―	―

②啓発等に関する事業

項　目 事業内容	実績（H27）
9　3R推進啓発事業	
マイバッグ持参によるレジ袋削減の取組みなど，3Rの内容を市民に周知し，日常生活の具体的行動に結びつけていくための広報啓発を行う。	スーパーや百貨店でのポスター掲示や啓発ポップの設置 スーパー11 事業者 100 店舗　百貨店3店舗
10　ごみ減量広報・啓発活動	
転入者向けに家庭ごみルールブック等を作成・配布するなど広報活動を行う。	家庭ごみルールブック：81,000 部 家庭ごみガイド：63，000 部
11　3Rステーション事業	
3Rステーション（西部，臨海）において，市民へのごみ減量・3Rに関する情報提供，体験・活動の場の提供，各種講座やイベントの開催を行うとともに,不用品の受入・提供等を実施する。	入館者総数：107,937 人 講座等開催回数：1,025 回 不用品提供数：205,339 件
12　生ごみリサイクル促進事業	
クリーンパーク・東部等において，生ごみのリサイクルを推進するために，生ごみ堆肥の作り方や堆肥を活用した耕作についての市民講座を行う。	実施回数：23 回 参加人数：445 人
13　環境学習支援事業	
小中学校等の環境学習において分別指導などを行う。	環境学習支援実施回数：175 回 参加人数：　13,266 人

項　目	
事業内容	実績（H27）
14　空き缶等散乱防止及び再資源化促進事業	
環境と調和した地域社会の構築を目的に，空き缶等散乱防止，再資源化のための回収促進に，福岡都市圏内 17 市町が一体となり取り組む。	Jリーグ公式戦におけるポイ捨て防止PR看板掲出：22 ゲーム
15　都市美化運動の推進	
市民団体，事業者，行政により福岡市あき缶・びん対策協会を組織し，あき缶・びんの適正処理について啓発活動等を行う。	小・中学生ポスターコンクール応募作品 ：２３１点
16　不法投棄防止対策	
監視パトロールやカメラによる監視等を実施するとともに，ポスター等による市民への啓発や警察等関係機関との連携を行う。	不法投棄処理量：35 トン 処理件数：593 件
17　エコ発する事業	
NPO 法人や市民団体が自ら発意・企画し，自主的に取り組んでいる様々な環境活動を支援する。	補助件数：8 件（局 5 件，区 3 件）
18　環境市民ファンド	
環境市民ファンド（基金）を活用し，NPO 法人や自治会等，市民が主体的に行う環境保全活動を支援する。 下記4分野における事業についてファンドを活用 ①３Ｒ　　②温室効果ガスの排出削減 ③自然環境の保護（地域清掃を含む） ④複合的な活動（①～③を含む）	地域集団回収等報奨制度，拠点での資源物回収事業，ラブアース・クリーンアップ事業，生物多様性ふくおか戦略の推進など，全 19 事業に活用。
19　福岡市環境行動賞	
環境保全・創造に高い水準で貢献し，顕著な功労・功績のあった個人・団体・学校・事業者を表彰し，それらを広く市民に知らせている。	応募件数：108 件 （個人：13，団体：15，学校：11，事業者：7，奨励賞：62） ※表彰式を隔年開催としているため，27 年度は表彰式を実施していない。
20　環境フェスティバルふくおか	
環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした，楽しみながら学べる参加体験型イベントの実施。	H27.10.17（土）・18 日（日）福岡市役所西側ふれあい広場にて開催。 来場者数 49,000 人，出展団体 46 団体
21　循環のまち・ふくおか推進会議	
市民，事業者，行政で組織し，循環型社会に向けた具体的行動を協議し，全市的な実践活動の展開を図る。	・循環のまち・ふくおか推進会議 (H28.1.25)※積雪の影響により中止 資料配布のみ

（２）事業系ごみの３Ｒ施策

①リサイクルに関する事業

（単位：トン）

品　目	基準年次	前年度	実績	目標値		
項　目 事業内容	H21	H26	H27	H27 第１次	H32 第２次	H37 最　終
古紙						
22　事業所ごみ減量事業(古紙)						
特定事業用建築物（延床面積 1,000 ㎡超）の所有者等に，「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ，計画に従ったごみ減量の推進について，立入等により指導を行う。	71,100	79,300	78,100	78,600	80,900	83,300
小規模事業者及び機密書類の資源化推進						
23　事業系古紙回収推進事業 中小事業者等を対象とし，ごみ許可業者や古紙業者等の協力のもとに構築した古紙回収システムにより，効率的・効果的な古紙回収を推進する。 24　事業系古紙地域回収支援モデル事業 複数の事業者が共同で古紙を回収するシステムを構築した場合に，費用の一部を補助する。 25　市の施策以外の古紙の資源化量 小規模事業者が独自に古紙回収を実施する。	62,552	81,354	93,486	68,024	74,674	81,324
26　市庁舎内古紙回収						
市庁舎における古紙回収を実施する。	1,626	1,562	1,585	1,626	1,626	1,626
27　工場での古紙回収						
清掃工場に搬入された段ボール等古紙類を回収，再資源化する。	352	216	193	352	352	352

品　目 項　目 事業内容	基準年次 H21	前年度 H26	実績 H27	目標値 H27 第１次	 H32 第２次	 H37 最　終
食品廃棄物						
28　事業所ごみ減量事業（食品廃棄物） 特定事業用建築物（延床面積 1,000 ㎡超）の所有者等に，「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ，計画に従ったごみ減量の推進について，立入等により指導を行う。 29　事業系食品廃棄物リサイクル推進事業 事業者のリサイクルルート構築を支援するため，今後のモデルとなるような事業の実験を実施する。 小規模事業者の資源化推進 30　事業系食品リサイクル支援モデル事業 複数の事業者が共同で生ごみ処理機などを導入し，新たなリサイクルシステムを構築した場合に，費用の一部を補助する。 31　市の施策以外の食品廃棄物の資源化量 小規模事業者が独自に食品廃棄物を資源化する。	1,320	5,319	6,470	5,100	11,600	18,000
紙おむつ						
32　紙おむつの資源化						
介護・福祉施設や医療機関などから排出される使用済み紙おむつを資源化する。	―	―	―	0	0	9,000
その他						
33　事業系ごみ減量事業（缶・空きビン等）						
特定事業用建築物（延床面積 1,000 ㎡超）の所有者等に，「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ，計画に従ったごみ減量の推進について，立入等により指導を行う。	15,952	19,100	19,900	11,700	12,100	12,400
34　市直営資源回収（空きびん・ペットボトル）						
市庁舎における空きびん・ペットボトルを回収する。	53	30	31	40	40	40

品　目	基準年次	前年度	実績	目標値		
項　目 事業内容	H21	H26	H27	H27 第１次	H32 第２次	H37 最　終
35　公共施設資源回収（蛍光灯）						
市庁舎における蛍光灯の回収を実施する。	13	12	9	10	10	10
36　緑のリサイクル						
街路樹等の剪定樹木をチップ化し土壌改良材として公共施設緑化事業に再利用する。	4,496	4,110	4,043	3,457	3,448	3,448
37　燃えないごみからの鉄・アルミの回収						
資源化センターに搬入された不燃性ごみを破砕し，磁選機等により鉄，アルミを回収，再資源化する。（家庭系/事業系は搬入量を基に案分）	3,136	2,766	2,747	2,631	2,524	2,425

②啓発等に関する事業

項　目 事業内容	実績（H27）
38　資源物回収協定制度	
資源物回収事業者との連携を強化するため，優良な資源物回収事業者と資源物回収協定を締結し，事業者に紹介する。	協定締結事業者数：21 事業者
39　事業系ごみ資源化情報発信事業	
事業系ごみのリサイクルに関するホームページを構築し，資源化に関する情報提供や回収業者とのマッチングを行う。	H25 年 3 月開設 マッチング申込件数：70 件
40　エコアクション 21 取得推進事業	
市内事業者の環境保全に関する自主的な取組みを促進するため，環境省が推進している中小事業者向け簡易版環境マネジメントシステムである「エコアクション２１」の普及を図り，事業者による環境配慮の取組みを支援している。	エコアクション２１導入セミナー実施 17 事業者 自治体イニシアティブ・プログラム参加 12 事業者
41　グリーン購入ガイドライン	
再生品など環境に配慮された製品の普及を図るために，福岡市グリーン購入ガイドラインを策定し，環境に配慮された製品を全庁的に率先購入している。	「福岡市グリーン購入ガイドライン」改定 庁内における適合状況の調査実施 平成 27 年度達成品目：114 品目/174 品目

項　目	
事業内容	実績(H27)
42　事業系ごみ資源化推進ファンド	
事業系ごみの資源化に向けた事業者の取組みを支援することにより，循環資源の更なる利用を促進し，循環型社会の形成を進めるための事業を実施する。	事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業，事業系ごみ資源化情報発信事業など，累計 10 事業に活用。
43　福岡市環境行動賞　　再掲	
44　環境フェスティバルふくおか　　再掲	
45　循環のまち・ふくおか推進会議　　再掲	
46　事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業	
事業系ごみの資源化を推進するため，古紙，食品廃棄物，使用済み紙おむつ等の事業系一般廃棄物の資源化に関する技術等を研究しようとする事業者に対し，実証研究等に係る費用の一部を補助することにより，その取組みを支援するもの。	【継続採択】 実証研究1件
47　事業系一般廃棄物資源化施設の整備支援	
本市の事業系一般廃棄物の資源化推進に寄与する施設及び設備を市内で整備するために要する費用について，その一部を補助することにより，本市の一般廃棄物の資源化施設の基盤整備を図り，もって循環型社会の形成を図るもの。	補助件数:0件